

歩行レベル
★★
ハイキング

希少動植物の宝庫 世界遺産の島を多彩なアクティビティで体感! 奄美大島 大自然探訪 5日間

鹿児島

2026年 10月27日(火)～10月31日(土)

旅行代金 おひとり様 **278,000 円** (新千歳発着) **258,000 円** (東京発着)

※現地(奄美大島)発着は新千歳発着の金額より 50,000 円割引となります。その他の空港発着はお問い合わせ下さい

催行決定



アマミブルーの大海原に点在する島々、そして深く濃い緑の亜熱帯林。その中に希少な生物が多数息づく稀有な島・奄美大島へ

【利用予定航空会社】 日本航空

【利用予定ホテル】 ウエストコート奄美、ニュー奄美、サンデイズ奄美など

【食 事】 朝 4 回・昼 0 回・夕 3 回

【最少催行人数】 5 名 (最大 8 名)

【一人部屋追加料金】 設定なし(お問い合わせ下さい)

【ツアーリーダー】 新千歳空港から全行程同行。島内のハイキングやカヌー、ナイトツアー(オプション)には地元ガイドが同行します

ココがポイント

- 1 世界遺産登録の自然と生命溢れる島に 5 日間じっくり滞在!
- 2 ハイキングや観光に最適な気候、訪島ベストシーズンの設定です
- 3 金作原原生林ハイク、マングローブカヌー、湯湾岳登山、マテリアの滝ウォークと、島の王道アクティビティを余すところなく体験!
- 4 黒糖焼酎や大島紬、島料理など、島の伝統・文化にも触れます
- 5 1 日はフリータイム。好きな場所へ、好きな島旅をどうぞ



マングローブの原生林の中をカヌーでゆったりと(イメージ)

◀ 巨大なヒカゲヘゴや亜熱帯広葉樹林が生い茂る金作原原生林

▶ 太陽に反射して滝壺が輝くマテリアの滝



日本第 2 位の広さを誇るマングローブ林



奄美大島 大自然探訪 5 日間 暫定行程表

	月日	地 名	行 程	食
1	10/27 (火)	新 千 歳 羽 田 空 港 奄 美 空 港 名 瀬	新千歳空港(朝)→羽田空港(午前/乗換)→奄美空港(午後) 着後、島の北東部の名所を巡ります(土盛海岸、あやまる岬、笠利崎など)。 途中の見どころに立ち寄りながら島の中心地・名瀬へ。 ※この日に訪れる場所は航空機のフライト時間によります 【奄美大島・名瀬/泊】	一 一 夕
2	10/28 (水)	名 瀬 金作原 ハイキング 黒潮の森 マングローブ パーク 名 瀬	金作原(きんさくばる)原生林ハイキングへ。亜熱帯林の広葉樹や巨大なヒカゲヘゴが見られる世界遺産の森を、現地エコガイドの案内で歩きます(約 3h30)。 午後は黒潮の森マングローブパークへ。奄美大島世界遺産センターを見学し、マングローブの原生林をゆったりカヌーで散策。潮の干満によって変化する独特の風景を観察します(約 1h)。終了後、名瀬へ。 ※干満状況により、ハイキングとカヌーの順番が入れ替えになる場合があります 【オプション】ナイトツアー/ご希望の方は、夕食後 19:00 頃ホテル発でナイトツアーへご案内。夜の森で島の固有種アマミノクロウサギなど希少な動物に高確率で出会えると人気のアクティビティです(料金目安 1 名 10,000 円〜)。 【奄美大島・名瀬/泊】	朝 一 夕
3	10/29 (木)	名 瀬 湯 湾 岳 マテリアの滝 名 瀬	奄美群島の貴重で稀有な自然について学べる奄美野生生物保護センターを見学。その後、湯湾岳へ。標高 694m の島最高峰に登ります。好天なら山頂近くの展望公園から島西側の大パノラマが広がり、圧巻の景色です(約 2h)。 下山後、奄美フォレストポリスへ移動して湯湾岳を源流とするマテリアの滝へ。森林浴が気持ちの良い遊歩道を歩き、“太陽が輝く滝壺”を意味するパワースポットへ(約 1h)。 ※前日中止だった場合は、この日もナイトツアーのチャンスがあります。 【奄美大島・名瀬/泊】	朝 一 夕
4	10/30 (金)	フリータイム	朝食後、終日フリータイム。名瀬タウンの散策や近郊で伝統文化体験、シュノーケリングやシーカヤックなどのマリレジャーetc、お好みの島時間をお過ごし下さい。 ツアーでは以下のオプションプラン(別途料金)をご案内します。料金や詳細はご参加者に改めてご案内します。その他、ご希望があればツアーリーダーがサポートします。 ●加計呂麻島 1day トリップ(シュノーケルまたは集落・風景を楽しむ) ●加計呂麻島・青の洞窟探検(神秘的で美しい海蝕洞を船で見に行きます) 夕食は各自になります。お好みの島の味をお楽しみ下さい。 【奄美大島・名瀬/泊】	朝 一 一
5	10/31 (土)	名 瀬 奄 美 空 港 羽 田 空 港 新 千 歳	奄美大島酒造(奄美大島のみで醸造されている黒糖焼酎の製造元)、奄美大島紬村(または夢おりの郷)などを訪ね、島の歴史と伝統に触れます。その後、ハートロック(干潮の時のみ)、奄美パークなどを見学して空港へ。※訪れる場所は航空機のフライト時間によります 奄美空港→東京または中部または大阪(乗換)→新千歳空港(夜)	朝 一 一

- ◆現地の諸事情により、行程が変更または入れ替えになる場合があります。
- ◆歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。
- ◆当時の天候など諸事情により予定のアクティビティが中止になった場合は、観光やドライブに変更しますが、それによる返金はありません。
- ◆1 日目と 5 日目の観光場所は暫定です。航空機のフライト時間によって最終的に決定します。

奄美大島 ～世界的にも稀有な独自の生態系と大自然～

「奄美群島」は、鹿児島島の南方 380～580 キロメートルの海上に点在する 8 つの有人島(奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島)から成り、その亜熱帯の自然環境には固有種も含め珍しい生き物たちが多数生息していることから、2021 年 7 月ユネスコの世界自然遺産に登録されました。群島で最も大きい「奄美大島」は鹿児島市から南へ約 380km。周囲およそ 461km の島。多様性と希少性を併せ持ち、日本で 2 番目に広いマングローブ林やアマミノクロウサギ、ルリカケスといった固有種など、世界に誇る生態系の豊かさを持っています。また、島唄や奄美大島紬、黒糖焼酎など伝統文化・伝統産業も息づき、古来の島人たちが守り続けてきた風景や情景を見ることができます。奄美群島の島々は、約 170 万年前までに大陸から切り離されて島になったため、大陸では絶滅した古い形の生物が生き残って固有種となっており、哺乳類 13 種のうち固有種が 8 種類。ほとんどが夜行性なので、ナイトツアーでは高い確率で遭遇することができます。持続可能性(サステナビリティ)がうたわれる昨今、この生物多様性から世界中の研究者や自然愛好家たちから熱い注目を集めている奄美群島の中心の島を 5 日間、じっくり、たっぷり巡ります。



奄美大島と徳之島のみが生息している
国の天然記念物アマミノクロウサギ



湯湾岳など標高の高い場所で見られる可能性あるヘツカリンドウ



特に海の色が美しいと言われる加計呂麻島(かけろまじま)



◀カヌー散策で
見られるマング
ローブの花(オヒ
ルギ/イメージ)

▶干潮の時だけ
に現れるハート
型の潮だまり、
ハートロック



加計呂麻島で数ヶ所に見られる海蝕
洞。その美しさから「青の洞窟」とも

奄美大島 大自然探訪 持ち物リスト

	品 名	数 量	チエック	備 考
1	ハイキングシューズ	1組	○	普段履き慣れている軽登山靴やハイキング靴など。移動時や観光の靴と兼用にしてもいいでしょう。
2	タウンシューズ	1組	△	観光や移動時に。運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん（中）	1個	○	アクティビティ中、不要な荷物を車や宿に預ける荷物入れ用。バックやスーツケースでも良い。
4	ナップサックまたはショルダーバックまたはベルトポーチ	1個	○	ウォーキング時に手荷物を入れるバッグ。両手がフリーになるザックタイプがおすすめです。車内持ち込み兼用にしても良いでしょう。
5	雨具（上）	1着	○	薄手で良いので登山用の雨具を念のため携行して下さい。天気が良ければ、ホテルに置いていけます。コースによっては傘で歩けますが、あれば防寒着としても活用できます。
6	防寒・防風・防水着	1着	○	10月の奄美大島は温暖ですが、雨天や曇天、風が強い時は多少涼しくなります。海風が強いと体感温度が下がることも有るので、乾きの早い薄手フリースジャケット、ウインドブレーカーなどは必ずご用意下さい。
7	衣類（着替え）	適数	○	長袖、半袖シャツ、スラックス、下着、靴下、着替えなど。
8	日除け帽子	1個	○	強い日差しを遮るため、つばのある帽子が良いでしょう。
9	サングラス	1個	△	晴れだと日差しを遮る高木などはないので眩しいです。紫外線から目を保護するために。
10	手袋	1組	○	日除け用または防寒用に薄手のものをご用意ください。
11	水筒（テルモス）	1個	○	容量 500～750ml 程度。市販のペットボトルでも可。温かい飲み物を持ちたい方はテルモス（魔法瓶）も重宝します。
12	洗面用具	適数	○	作務衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊するホテルに部屋のアメニティとして付いています。
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは便利です。保管に気をつけましょう。
15	携帯電話	1個	○	緊急の連絡時にお持ち下さい。
16	双眼鏡	1個	○	アクティビティ中の動植物ウォッチ、観察などに持っているとう便利です。
17	折り畳み傘	1本	○	ほとんど整備された道を歩くので、雨天では必携です。
18	ヘッドライトまたは懐中電灯	1個	○	念のため、お持ち下さい。
19	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
20	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。不要な日はホテルに置いていけます。伸縮式が便利です。
21	医薬品	適数	△	マスクや持病用の特別な薬などは各自ご用意下さい。
22	水着	1組	△	フリータイムの日マリンスポーツを予定している方は、アクティビティによってはご用意下さい。
23	カメラ・ビデオ	適数	△	予備電池、充電装置も忘れずに。
24	嗜好品・おやつ類	適数	△	空港や名瀬の街中で買い出し可能です。ただし島なので種類や数が限られます。普段愛用している行動食などあれば事前にご用意下さい。

○=必要なもの △=あると便利なもの ※あくまでご参考になしてください